

# 屋久杉の森

屋久杉の森は針葉樹  
と広葉樹の混合林

空中湿度の高い森の中は緑の苔が林床の倒木や岩をおおい、幹をつつみ、高い枝にもからみついて深い緑の海底といった景観をつくっている。これは熱帯アジアの高地林に見られるモスフォレスト（蘚苔林）同様の姿といわれている。



# 縄文杉

屋久島の東側に流れる安房川の上流にある小杉谷の奥，高塚山の尾根近い標高1300mの地点にあるのが縄文杉である

・  
推定じゅれいは2000～7200年  
・周囲16.2m，樹高25.3mで，岩の大地をわしづかみにその幹にはこぶを盛りあげたたくましい姿でたっている。





# 紀元杉

## 高齡樹屋久杉

屋久杉の特徴はなんといっても長生きすることであろう。スギは樹齡200年くらいから中心部が腐り始めて空洞化が進み、だいたい500年ほどで寿命が尽きるものが多いといわれている。その点、屋久杉は樹齡500年ほどではまだ若々しい姿であり、老木では2000年を越えるものが少なからずあって、スギとしては極めて長命である。



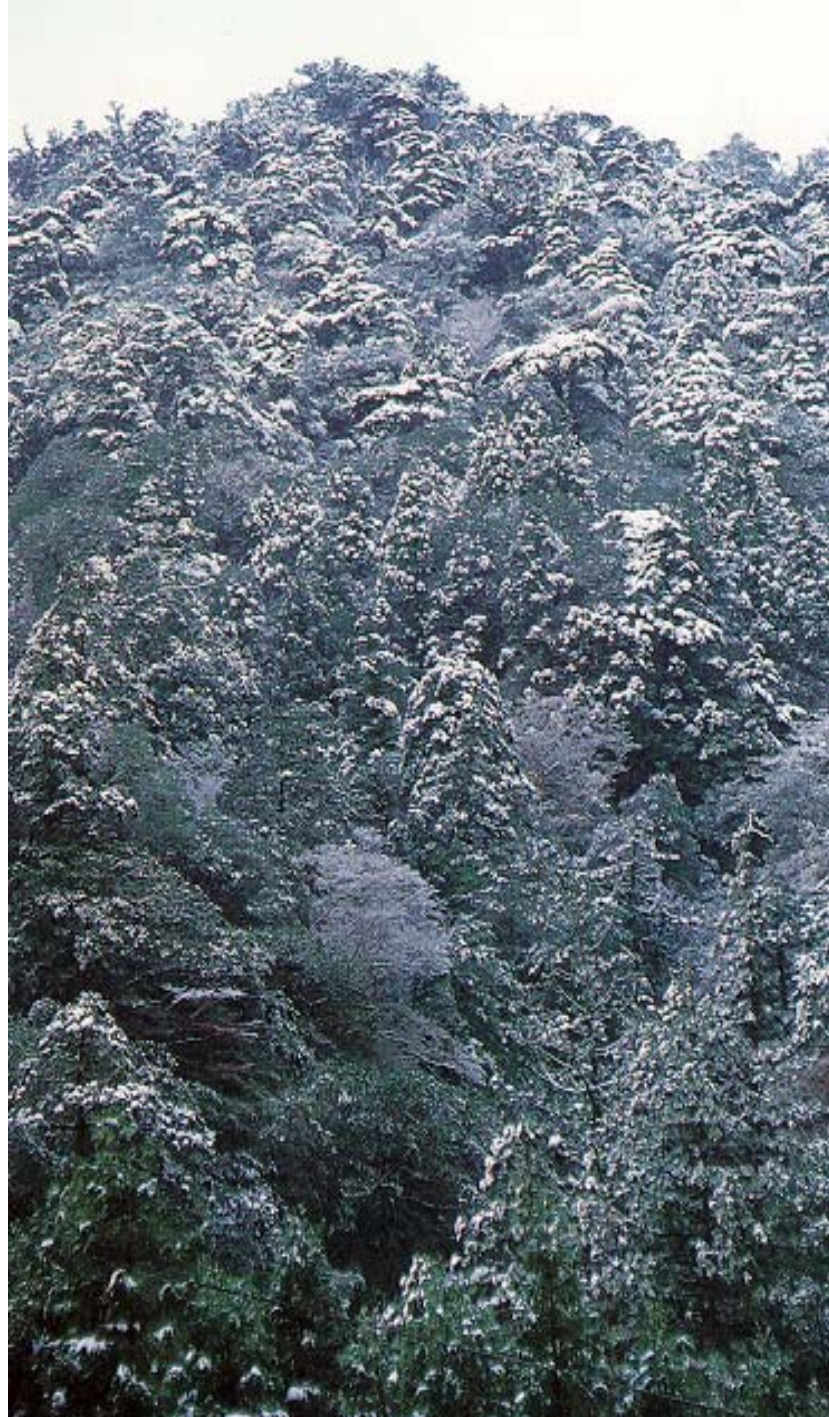


# 冷温帯高 地風衝林

宮の浦岳は九州最高峰

標高2000m弱，高山とはいいいがたい山々であるが，海上の独立峰といえる屋久島の山頂部は激しい風や雨，雪の影響を受け，高山帯の様相である

・





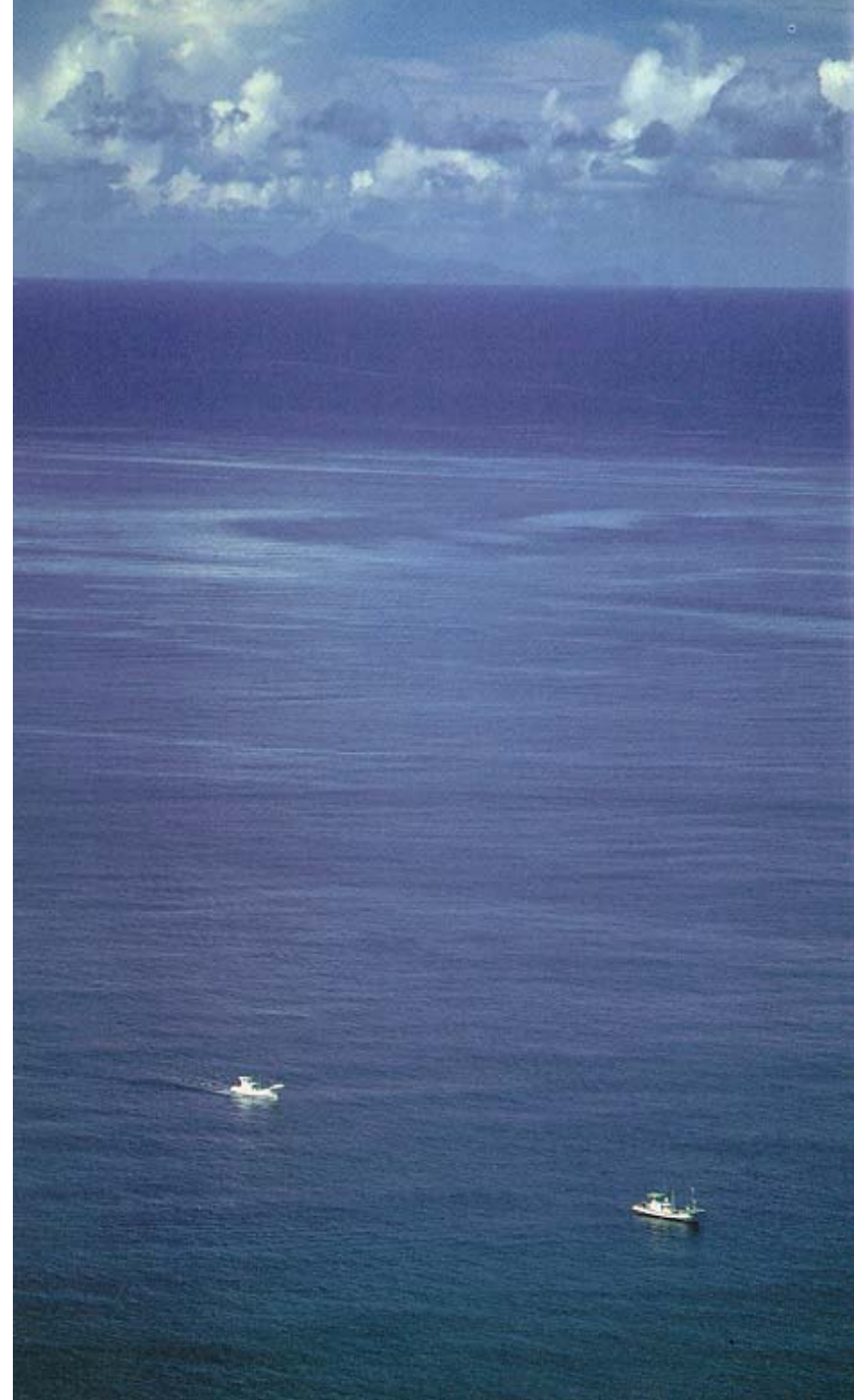
# 南国の高層湿 原

## 小花之江河

山頂部のひときわ抜け出した急峻な地形のすそにあたる沢地や鞍部に湿原をみることができる。

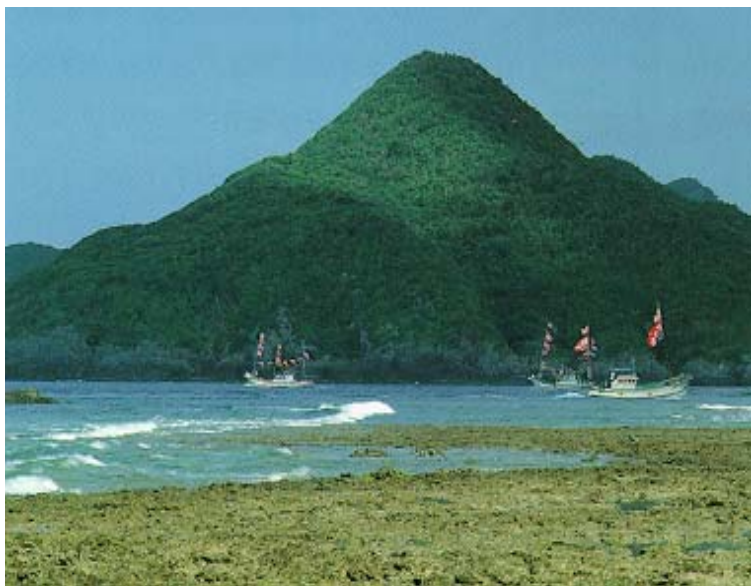


# 南西の海は トカラの 島々に続く





# 南の島



志戸子の珊瑚礁と津守岳



ウミガメ産卵地 いなか浜



サントンカ



ハイビスカス



# 亜熱帯の 島

サル川のガジュマル



亜熱帯の樹木を混える海岸林  
谷岬鼻





# 国割岳西斜 面

人間の手の加わっていない照葉樹林として現存するものでは世界最大級といわれる。海辺から一気に立ち上がる山肌を埋め尽くす照葉樹林がひろがる。



ヤクシカ

ヤクシマサル





# 照葉樹 林

人間の手の加わっていない照葉樹林として現存するものでは世界最大級といわれる。海辺から一気に立ち上がる山肌を埋め尽くす照葉樹林がひろがる。





# 照葉樹 林の植 物相

ヤマソテツ



シダの宝庫



夏咲きのエビ  
ネ



# 北限に近い テッポウユリの群落

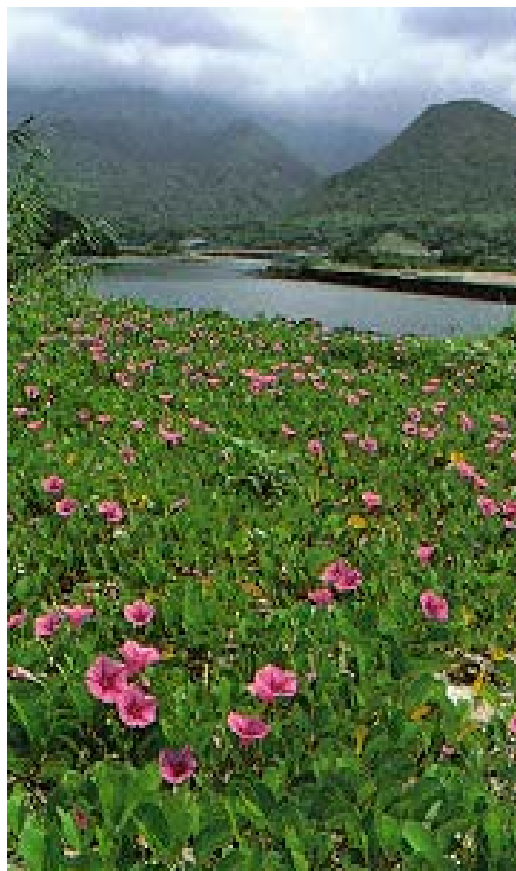


屋久島の稲は台風の被害をさけて7月末には刈り取られる





1900mの高峰から流れ下る栗生川は海上の道に続く



**河口砂地のゲンバイヒルガオは暖流を旅する植物**



# 相川七瀬

